

## 河川レンジャーとしての活動と抱負

こにし まさひと

氏名 小西 勝人

活動テーマ	美しい淀川の自然を守り、河川敷等でごみの無い子供たちが川遊びが出来る川を目指します。
活動場所	西淀川区の河川敷・福島区の河川敷
活動内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 現在行なっている毎日1回の河川敷掃除を継続し、行政に働きかけて、地域住民、企業の参加を促す。</li><li>2. 冬季はヨシ刈を行い、使ったの工作教室を小中学生向けに行なう。</li><li>3. 淀川大橋～淀川大堰間のウォーキング大会を行い植物や小動物の観察を楽しんでもらう。</li><li>4. 2月に淀川一斉ごみ拾い大会を行なう。(上流の河川レンジャー、淀川サポート制度に認定された方と連携を取る)</li></ol>
抱負	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 川に捨てられている多くのペットボトル、空缶、ビニール袋、バッテリー、大型ごみ等の多さに気いてもらう。</li><li>2. ヨシ刈をした部分としない部分のヨシの生育の違いを知る。</li></ol>

# 河川レンジャーとしての活動と抱負

いしやま ふみえ

氏名 石山 郁慧

活動テーマ	淀川水系の生物多様性を見て・知って・考える活動
活動場所	<p>情報源やフィールドでの活動場所          河川レンジャーエリア区分の淀川 - 1~5          勉強会やワークショップを開催する会場          大阪市水道記念館（東淀川区柴島）、きんき環境館（中央区大手前）、          NPO法人natureworks（北区天神橋）などを予定</p>
活動内容	<p>2010年の国際生物多様性年を鑑みて、昨年より学識経験者と密に情報交換を行ってきました。しかし、誰もが自分の専門分野外のことは、意外と深く知らないものです。（例・川で活動している人は、海のことをよく知らない）</p> <p>とくに、特定外来生物の駆除問題は、各地で実施するだけでなく、淀川全体をマクロに考える必要があると感じました。</p> <p>その背景をふまえて、淀川水系の生物の最新情報を収集・発信できる活動を展開し続けたいと思っています。一般向けの観察会等を各地で行いつつ、それとは別に、専門家・研究者を対象とした勉強会やワークショップを開催。山～川～海の水のつながり、生物の命のつながりを考えるきっかけを創りたいと願っています。今後は、下記のとおり推進する予定です。</p> <p>1～2年目 動植物の専門家からの情報収集・情報交換・情報集積          3～4年目 広く市民へ情報を発信するシステムの構築          5年目以降 淀川水系の生物多様性を考える会（仮称）の発足活動の加速化</p>
抱負	<p>下記が、2010年の実施内容です。</p> <p>1月23日 きんき環境館での「生きものシグナル」情報交換会          3月06日 水道記念館での「淀川の生きもの」&amp;「アユの生活史」          3月20日 グランキューブ大阪・生物多様性EXPOin大阪での展示          4月14日 天王寺動物園・コアラ舎と爬虫類館の飼育員への取材          6月03日 海上保安庁・巡視艇かつらぎでの「大阪湾・環境勉強会」          7月04日 摂津市コミュニティプラザでの「生きものクラフト教室」          7月15日 natureworksでの「大阪湾・環境勉強会・水面下の世界」          7月17日 近畿環境館&amp;八軒屋での生き物写真展示          9月13日 natureworksでの「大阪府・特定外来植物の現実」を予定</p>